

令和4年 第2回岐阜県議会定例会 提出議案等に関する説明会

1 会議の日時	<p style="text-align: center;">開 会 午後 1 時 0 0 分 令和4年5月10日（火） 閉 会 午後 1 時 2 0 分</p>	
2 会議の場所	<p style="text-align: center;">議会西棟第1会議室</p>	
3 出席者	委員	<p>猫田 孝、岩井 豊太郎、玉田 和浩、藤埴 守、尾藤 義昭、伊藤 正博、渡辺 嘉山、松村 多美夫、村下 貴夫、森 正弘、佐藤 武彦、平岩 正光、川上 哲也、伊藤 秀光、野島 征夫、水野 正敏、小原 尚、松岡 正人、山本 勝敏、田中 勝士、野村 美穂、高木 貴行、加藤 大博、林 幸広、高殿 尚、水野 吉近、国枝 慎太郎、長屋 光征、布俣 正也、広瀬 修、若井 敦子、伊藤 英生、澄川 寿之、中川 裕子、恩田 佳幸、山内 房壽、安井 忠、森 治久、藤本 恵司、今井 政嘉、所 竜也、平野 恭子、平野 祐也、小川 祐輝、森 益基 （46名）</p>
	執行部	<p style="text-align: center;">別紙配席図のとおり</p>
4 事務局職員	<p>議会事務局長 山 口 義 樹 課長補佐 市 川 達 也 他関係職員</p>	

5 会議に付した案件

件名	審査の結果
1 令和4年第2回岐阜県議会定例会提出議案について	

6 議事録（要点筆記）

提出議案に関する説明会

○議会事務局長

ただいまから、提出議案等に関する説明会を開催する。
はじめに議長からご挨拶申し上げる。

○議長

（あいさつ）

○議会事務局長

それでは、先に案内した日程に従い、説明会を進める。
以後の進行を副議長にお願いします。

○副議長

それでは、提出議案に関する説明会を始める。

本日の説明会では、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の一環として、執行部からの説明は、お手元に配布の資料「進行の流れ」に記載のとおり、説明員を必要最少人数とした上で、「2部入れ替え制」にて行うこととする。

執行部説明員については、着座のまま、順次、氏名・役職を名乗った後、説明を行うこととしますが、質疑応答においては、通常どおり、発言許可を受け、起立した上で応答していただくこととする。

（総務部長挨拶の後、関係次長等が資料に基づき議案の概要を説明）

○副議長

続いて、質疑に入る。

質疑は、一問一答で簡潔な質疑にご協力をお願いします。

○議員

自宅療養に対する支援について、今回の15億9,000万円の予算の具体的な事業内容を教えていただきたい。

○健康福祉部課長

主に、自宅療養者に対して、食料等必要物資の支援及び健康観察を行うもの。

具体的には、希望する自宅療養者に1週間程度の食料品を送付する。また、健康観察として主にオンライン入力にて健康状態を報告していただき、昼用があれば医療機関につないでいる。いずれも、第6波開始以降同様の支援を継続して行うものである。

県内の各地の県有スポーツ施設などに、ベンチや木製遊具などを設置する予定である。

○議員

予算上、支援物資について、どのように対策期間や数量等を設定し、積算しているのか。

○健康福祉部課長

15億9,000万円のうち、食料物資にかかる費用は約6億円。9月前の期間の6万人から6万5,000人分程度の支援に係る必要額を見込んでいる。

健康観察に係る費用は、民間看護師への委託料6,000万円、看護協会の看護師への報酬8,000万円、療養開始等の電話連絡をするスタッフの委託料1億3,000万円程度である。そこ以外に、食料やパルスオキシメーターの配送委託料が3億5,000万円程度となっている。

○議員

4月末に支援物資の提供について、言っただけの感染者数に達した際は重点化する方針が発表されたが、今後どのような運用になるのか。

○健康福祉部課長

1日の新規自宅療養者数が1,000人を超える状況になった場合に、対応の切り替えを検討している。

現在は、希望者全員に食料物資を支援しており、約8割の方が希望されている状況にある。しかしながら、希望者が膨大な数になった場合に支援継続が困難になる可能性があるため、可能な方はインターネットの利用や親類・友人等の協力によりご自身で調達いただき、一人暮らしの方や家族全員が陽性になった方等、ご自身での調達が難しい方に対しては、優先的に支援を行うよう対応を切り替えることを考えている。

○議員

支援物資はとても喜ばれているが、大変な作業だと思う。

人によって事情は様々あるが、希望がある場合は柔軟に対応いただけるのか。

○健康福祉部課長

自宅療養に備えた備蓄の呼びかけを行いながら、必要な方に支援が届くよう運用していきたいと考えている。

○議員

支援物資について、多くの方が助かったと喜んでいる。感染者が増えた際は市町村の力を変えるなど様々な方法を検討し、可能な限り対象を絞らない運用とするよう要望する。

○議員

ウクライナ避難民への生活支援についてだが、現在県内への避難民はどれだけか。

○外国人活躍・共生社会推進課長

4家族12人である。

○議員

「ロシアによるウクライナ進行により」との説明があったが、「侵攻」か「侵略」のどちらを使用すべきか。

○外国人活躍・共生社会推進課長

「侵攻」を使用している。

○副議長

質問も尽きたので、これをもって提出議案に関する説明会を終了する。

令和4年第2回臨時会 提出議案に関する説明会配席図

令和4年5月10日(火)
議会西棟 3階 第1会議室

深見 高年齢福祉課 推進監			有田 高齢福祉課長			熊谷 障害福祉課長			森島 医療整備課長			河村 財政課管理調整監
野中 商工・エネルギー政策 課長	柴田 国民健康保険課長		後藤 感染症対策調整課長			小山 感染症対策推進課長			大口 外国人活躍・共生社会 推進課長			早崎 税務課長
田口 商工・エネルギー政策 課長	平野 子ども・女性局副局長		松本 (健康福祉部次長 調整担当)			浅井 (健康福祉部次長 福祉担当)			子林 健康福祉政策課長			高橋 財政課長
富田 商工労働部次長			渡辺 健康福祉部次長			横山 総務部長			渡辺 総務部次長			長沼 清流の国推進部次長

議 員 席

議長
副議長
議会
事務局長